

集中治療部 [ICU] Intensive Care Unit

兼清 歌

富山大学附属病院
薬剤部(社会人4年目)

【取材日：2025.7.7】

現在のお仕事について教えてください

富山大学附属病院の薬剤師として薬剤部に勤務しています。調剤室では、注射薬を含めた調剤や院外薬局からの問い合わせ対応などを行っています。この春にICU担当となり、ICUでの使用薬剤確認や他職種からの薬の相談に乗っています。

富山大学で学ぶきっかけ

高校の勉強で、化学が得意だったことと、資格を持っておくと将来的に安心だと思い、薬剤師になりたいと考えました。祖母が薬剤師だったので、薬剤師の仕事についても、身近だったこともあります。国立大学で、地元から離れた土地に行ってみたかったので富山大学薬学部に進学しました。

富山大学で得たものは何ですか

多彩な人間関係です。富山大学薬学部で学び、富山大学附属病院で臨床実習したおかげで、附属病院の医師や看護師との繋がりもより強く感じます。同じ研究室出身で、私と同じく富山大学附属病院の薬剤師になった友人がいます。アルバイト先で知り合い、今も繋がりがあある友人もいます。

Profile

福岡県出身。福岡県立筑紫丘高等学校卒業。2018年、富山大学薬学部薬学科に入学。大学で臨床薬剤研究室に所属し、富山大学附属病院で薬剤師の実習を経験する。2022年4月より、富山大学附属病院に薬剤師として就職。現在、ICUに勤務。在学中より、バレーボールの審判の資格を取得し、国際大会の運営にも携わる。現在も県内外のバレーボールの大会に出向き、充実した日々を送っている。

研究室の繋がりが続く

加藤敦教授は大学の時の研究室の恩師であり、現在の職場の上司です。学生時代は臨床薬剤学研究室に所属しており、薬剤師資格の実習先が富山大学附属病院でした。その時に、先輩方の知識量の豊富さが格好よく、憧れました。その後、調剤薬局の実習を経験し、大学病院で臨床薬剤師として働きたいという気持ちが強くなりました。

富山大学の魅力

私が学生の頃は違ったのですが、今は五福で9学部が教養科目を学ぶのはとても良いと感じます。多様な人と関わることができるのも大学生活の醍醐味です。また、富山大学の方針として英語教育に力を入れているのは、これからの時代を生きるのに必要です。業務でもプライベートでも、英語を使う機会は多いです。若いうちは嫌だな、と思うかもしれませんが、今のうちに学べるのはとても良いです。

高校生へのメッセージ

高校・大学は勉強するのはもちろんのことですが、色々な人に会う、色々な経験をするための時間・機会だと思っています。興味のあることはもちろんですが、今まで知らなかった人・世界と出会うチャンスだと思ってぜひいろんなことにチャレンジして自分の可能性・未来の選択肢を広げていって下さい。